

カヤク

土壌くん蒸剤

ダブルストッパー[®]

- 種類名/クロルピクリン・D-Dくん蒸剤 ●性状/淡黄色澄明液体 ●包装/15ℓ×1缶 ●有効年限/3年 ●毒性/医薬用外劇物 ●比重/1.34
- 有効成分/クロルピクリン(PRTR・1種)…35.0% 1,3-ジクロロプロペン(PRTR・1種)…60.0%



「クロルピクリン」と「D-D」の混合による効果

使用上の
メリット

2種混合により、クロルピクリン特有の刺激臭が軽減

防除上の
メリット

2種混合により、殺線虫力がアップ、土壌病害へより安定した効果

適用病害虫及び使用方法

2017年11月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む農薬の総使用回数	D-Dを含む農薬の総使用回数
かぶ、だいごん	ネグサレセンチュウ、ネコブセンチュウ、萎黄病	30ℓ/10a (1穴当り) 3mℓ	作付の 10~ 15日前 まで	1回	土壌くん蒸 (30×30cm ごとの深さ 15cmの穴に 1穴処理する)	1回	1回
こまつな						2回以内 (床土1回以内)	
セルリー	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)						
かんしょ	1回						
オクラ	2回以内 (床土1回以内)						
なす	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)						
トマト、ミニトマト	2回以内 (床土1回以内)						
ピーマン	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)						
とうがらし類、ねぎ	2回以内 (床土1回以内)						
ほうれんそう	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)						
いちご	2回以内 (床土1回以内)						
きゅうり、すいか	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)						
にがうり	2回以内 (床土1回以内)						
にんじん	3回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)						
メロン	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)						
しょうが	1回						
みょうが(花穂) みょうが(莖葉)	2回以内 (床土1回以内)						
かぼちゃ、はくさい	1回						
レタス、非結球レタス	2回以内 (床土1回以内)						
ばれいしょ	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)						
やまのいも	1回						
ごぼう	2回以内 (床土1回以内)						
こんにゃく、さといも	2回以内 (床土1回以内)						
きく	1回						
花き類・観葉植物 (きくを除く)	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)						

使用上のポイント

消毒前

- 保護具(マスクやメガネ等)を準備
- 消毒機を点検し、被覆シートを準備
- 効果が上がるように畑の準備
 - 畑内に残っている茎葉や根などは取り除いてください。
 - なるべく深く(20cm以上)耕し、土壌を細かく砕いておきます。
 - 整地は十分に行い、凹凸がないようにします。
 - 消石灰などのアルカリ性肥料はガス抜き後に使用するか、本剤処理の10日以上前に施用してください。
- 土の湿り気を確認
 - 土を軽く握って開くと、壊れずに割れ目ができる程度が最適です。



注入及び被覆

- 地温7℃以上での使用が効果的です。
- 薬剤注入及び被覆
 - 注入は30×30cmごとの深さ15cmの穴に3mlずつ1穴注入し、注入後直ちにポリエチレン・ビニール等で地表面を被覆してください。
 - 必ず被覆してください。
 - 他剤との混用は避けてください。特にカーバム剤およびカーバムナトリウム剤とは、化学反応により発熱して危険です。カーバム剤およびカーバムナトリウム剤使用後の散布器具等はよく洗浄してから使用してください。
 - 本剤の1穴当りの注入量は3mlですので、注入前に必ず注入機を調整してください。

注入方法



手動式注入器



トラクター牽引式土壌消毒機



全面マルチ土壌消毒機
薬液注入と同時にシートによる被覆ができます。

ガス抜き期間と播種・定植

- くん蒸期間は地温により異なるため、シートの被覆期間は下表を参考にしてください。

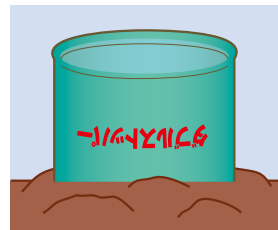
平均地温	7~10℃	10~15℃	15~25℃	25~30℃
被覆期間	20~30日	15~20日	10~15日	約10日

- 作付の1~2日前に畑を耕起し、十分にガス抜きを行ってください。
- 定植の前には、注入した畑の2~3ヶ所を掘ってガスの臭いがしないことを確認し、なおも気になる場合は発芽テストを行ってください。
 - ガス抜きが不十分な場合には、薬害を生じる恐れがあります。
 - 処理後に大雨があった場合や、土壌が重粘土質の場合は、念入りにガス抜きを行ってください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使い終わった缶は、逆さまにして周囲に影響のない場所に臭いが抜けるまで立てておいてください。その後、危険のない場所で処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

器具の洗浄と空き缶処理

- 器具の洗浄
 - 金属腐食性があるので、使用後の注入器具などは灯油でよく洗ってください。水による洗浄は機械内部の腐食を引き起こします。
- 空き缶処理
 - ダブルストッパーは全て土中で使いきってください。
 - 空き缶に臭気が残っていると、空き缶処理の際に事故となる恐れがあります。缶の側壁面にわずかに残った液は、下記の手順で処理し、空き缶は完全に臭気を抜いてください。
 - ①周囲に影響を及ぼさない場所に小さな窪みをつくり、缶の口栓をはずしてひっくり返し、倒立させます。
 - ②缶が倒れないよう土寄せします。このとき缶の中の残液が出やすいよう、傾かないように立ててください。
 - ③そのまま缶を倒立させておくと、中の臭気は徐々に抜けていきます(ほぼ1ヶ月で缶の残臭はなくなります)。
 - ④1ヶ月後、缶を再度ひっくり返して上向きにし、臭いを確認します。臭いが残っていればそのまま1週間静置し、完全に臭いなくなるのを待ちます。
 - ⑤臭いが完全に抜けたことを確認して、圃場から回収します。



安全に使用するために

- 医薬用外劇物。取り扱いには十分注意してください。
- 右記のイラストに示された、正しい服装と保護具を着用し作業してください。
- ガス抜き作業の際にも、保護メガネと防護マスクを着用してください。
- 作業及びくん蒸中に、人や家畜・家禽を圃場に立ち入らせないように注意してください。
- ガスを吸い込まないように注意してください。
- 作業後は、手足、顔を洗い、うがいをし、衣服を交換してください。
- ガスが眼に入りひどく痛む場合は、多量の水でよく洗い、速やかに眼科医の手当てを受けてください。
- 皮膚に対して強い刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。皮膚に付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落とししてください。
- 薬液が衣服に付いた場合には、ただちに着替え、他のものと分けてよく洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意してください。
- 住宅、畜舎、鶏舎周辺での使用に当たっては、ガスによる危被害の発生防止に十分配慮してください。
 - ①気温の低い季節の処理が望ましい。
 - ②風の強さや向きが不適な場合は、灌注処理やガス抜き作業を中止してください。
 - ③被覆資材は厚めのもの(0.03mm以上)を使用してください。
- ビニールハウス等の施設内で使用する場合、通気を良くして作業してください。作業後は直ちに密閉し、臭気が残っている間はハウス内に入らないでください。くん蒸後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
- 危険物第四類第2石油類に属するので火気には十分注意してください。
- 農業の中毒に関する緊急問い合わせ先
公益財団法人 日本中毒情報センター
つくば中毒110番:029-852-9999(9~21時)
大阪中毒110番:072-727-2499(24時間)



本資料は2017年11月現在の登録内容を基に作成しました。

日本化薬株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目1番1号(明治安田生命ビル)
TEL.03-6731-5321 FAX.050-3730-7867

1711Z DPCPDB007